

令和7年度 教育行政の展開

【第3期八戸市教育振興基本計画】

◇ 基本理念

夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸

◇ 基本理念の目指す教育の姿

▷ 自ら学び、心身ともに豊かに生きる教育

「生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）」を育み、命を大切にする教育に取り組むとともに、生涯学習の推進を図ります。

▷ 郷土を愛し、郷土とともに生きる教育

郷土に対する誇りと愛着を育み、様々な人と協働し、地域の担い手となる教育に取り組めます。

◇ 基本施策

- 1 持続可能な社会を創るための資質・能力の育成
- 2 共生社会の実現に向けた支援の充実
- 3 学びを支える学習環境・指導体制等の整備
- 4 地域の教育力向上と地域コミュニティの基盤強化
- 5 文化財等の保存と活用の充実

【令和7年度の主要事業】

学校、家庭、地域社会との連携を図り、次に示す主要事業を通して第3期八戸市教育振興基本計画の着実な推進を図ります。

特に、学校教育においては、安全・安心で「魅力ある学校づくり」を通して、「地域とともにある学校づくりの推進」に取り組むほか、「指導・運営体制の充実」、社会教育施設を含む「安全・安心な学習環境の整備」に取り組めます。

1 持続可能な社会を創るための資質・能力の育成

□ 次世代を担う人材育成 【教育指導課・総合教育センター】

青少年海外派遣交流事業やSTEAM教材開発事業、国際理解教育・英語教育推進事業等を通じて、郷土への誇りや愛着を持ち、地域社会でも国際社会でもグローバルな視点を持って活躍する、次世代を担う人材の育成に取り組みます。

□ 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の展開 【教育指導課・総合教育センター】

学校訪問（計画訪問・要請訪問）や各種研修講座等を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、校内研修における実践的研究を支援します。

- ・ 問題解決的な学習を取り入れた授業づくり
- ・ 1人1台端末を活用した授業づくり

□ 体験学習の充実 【教育指導課】

小学校における公共施設を利用した体験活動や、中学校での企業訪問等の社会体験活動に係る費用を補助し、地域の特色を生かした体験学習が効果的に実施できるよう支援します。

□ 読書活動の充実 【教育指導課・総合教育センター】

市立全小・中学校に学校司書を派遣し、「読書・学習・情報センター」としての学校図書館の機能の向上と充実を目指します。全児童を対象としたマイブック推進事業、小・中学校を対象とした「ひらく・楽しむ」新聞活用事業、学校図書館ネットワーク事業と併せて、児童生徒の読書活動の充実に努めます。

2 共生社会の実現に向けた支援の充実

□ 特別支援教育の充実 【こども支援センター】

幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と必要な支援の充実に向け、小・中学校等に対して、特別支援教育アドバイザー等の専門的立場から必要な支援に関する助言を行い、特別支援教育の一層の充実を図ります。また、すすく親子健康課やこども家庭相談室等と連携・協力し、本人や保護者、学校等への相談活動を行い、支援をつなぐ「拠点」として、幼児期から学齢期を通した総合的・継続的な子育て支援を目指します。

□ 子どもに関する相談・支援体制の充実 【教育指導課・こども支援センター】

いじめや不登校、虐待、さらには特別な配慮を要する児童生徒が抱える課題の解決を目指し、学校・家庭・地域社会・関係機関等と緊密な連携を図るとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを活用した相談体制の一層の充実を図ります。

3 学びを支える学習環境・指導体制等の整備

□ 学校施設の整備 【教育総務課】

カーボンニュートラルの実現に向けた温室効果ガスの排出抑制及び高騰する電気料金の節減を目的として、市立小・中学校の照明について、省エネルギーかつ長寿命の LED 照明への更新を行います。

近年、青森市をはじめとする豪雪災害や、全国各地で発生している大地震等の自然災害による被害が発生しており、児童の安全確保の観点から、特に老朽化が進んだ学校施設の改修を積極的に進め、安全で健全な学習環境の整備に取り組んでいきます。

□ 学校安全の充実 【教育指導課】

児童生徒の安全教育に一層力を入れるとともに、学校・家庭・地域社会・関係機関等が連携・協働する体制づくりを推進し、危険等の事前・発生時・事後を想定した学校安全（生活安全・交通安全・災害安全）の充実に努めます。

□ 教職員研修の充実 【総合教育センター】

教職員一人一人の意欲や資質・能力の向上につながる研修等を充実させ、魅力ある質の高い教職員集団の形成に取り組みます。

□ 教育 D X の推進 【教育委員会関係課】

教育の質の向上と学校運営の改善・効率化に向け、教育 D X 委員会が中心となって、1 人 1 台端末の活用や校務のデジタル化を推進します。また、校内研修や研修講座等を通して教職員の I C T 活用指導力向上を図るとともに、校務 D X 計画に基づき機器やシステムの整備を計画的に行います。

4 地域の教育力向上と地域コミュニティの基盤強化

□ コミュニティ・スクール推進事業 【学校教育課・教育指導課・社会教育課】

保護者及び地域住民が学校運営に参画する「地域学校連携協議会」（学校運営協議会）を設置し、地域住民等との連携・協働による「地域とともにある学校づくり」を推進します。また、学校にコーディネーターを配置し、学校支援ボランティアの活用等により「地域学校協働活動」を支援します。

□ 多様な学習機会の提供 【社会教育課】

市民の生涯学習の場として、市内 24 か所の地区公民館において各種講座や講習会を開催するとともに、各分野における専門家や八戸市に縁のある方などを講師に迎え、変化する社会の動きに興味・関心をもち、豊かな教養を身に付けられるよう、八戸市民大学講座を開催します。

□ 図書館の利用促進 **〔図書館〕**

あらゆる世代が求める多種多様な資料収集と広報活動の充実を図ります。さらに、電子図書館を導入するほか、身体の障がい等により来館が困難な市民に対し、配送による貸出サービスを行うなど、図書館の利用促進に努めます。また、児童生徒に対しては、図書の企画展示や学校図書館出前講座の実施、調べる学習コンクールの継続等により、確かな学力と豊かな心につながる読書環境の充実を図ります。

□ 講座・展覧会等の開催 **〔是川縄文館・博物館〕**

各社会教育施設が行う常設展・特別展・講座等を通じ、多様な学習の機会を提供し、各社会教育施設の活用に取り組みます。また、広域的体験活動支援事業に関わり、児童の体験活動の充実に努めます。

□ 児童科学館改修事業 **〔総合教育センター〕**

機能が向上したプラネタリウムの効果的な運用を図るとともに、展示物のリニューアルに向けた設計計画の策定を進め、子どもたちの科学する心を育む教育環境の充実に努めます。

5 文化財等の保存と活用の充実

□ 史跡の整備活用の充実 **〔是川縄文館〕**

八戸の優れた縄文文化に触れる機会を広く提供するため、史跡是川石器時代遺跡の整備を進めていくとともに、4道県及び関係自治体と連携し、世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の保存と活用の取組を推進します。

□ 文化財・名勝等の保存管理、活用の充実 **〔是川縄文館・博物館〕**

文化財の保存と活用をより推進するため、収蔵資料等の適切な保存管理を行うとともに、八戸の歴史を学ぶ場として利用を推進します。

□ 民俗文化財の保存継承の充実 **〔社会教育課〕**

民俗芸能等を後世に継承するため、伝承者の養成支援・公開・記録保存に取り組み、活用に必要となる環境を整備することにより、地域の活性化と郷土に対する誇りと愛着を育むことに努めます。

□ 博物館リニューアル事業 **〔博物館〕**

開館から40年以上経過し、経年劣化による各種設備の不具合の解消と、国の基準見直しによる展示収蔵環境及び防災設備等に対応することを目的に改修工事を行い、安心安全でだれでも使いやすい博物館を目指します。また、風土に根ざす八戸の特徴的な文化を伝える博物館を目指します。